

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

アッラー の およごび に いたり、この よ の こうふく を もたらす びとく の ひとつ に、ちゅうせいしん があります。ちゅうせいしん とは、あい と けいい、せいじつさ、そして むしむよく の あかし です。それは やくそく を まもり、ぜんこう に は ぜんこう を もって おうじる こと です。あなたが たおれた ときに ささえ となり、こうふく の とき に は ともに よろこび、かなしみの とき に は なみだ を めぐって くれる ひとびと を、けっして わすれない こと です。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

ちゅうせいしん の うち で もっとも こうき な の は、ぜんのう の アッラー の めいれい に したがひ、その おんけい に かんしゃ し、にんたいづよく しれん に たちむかい、「…アッラー に たいする じぶんの やくそく を はたす もの に は、やがて おおなる ほうしゅう が ある だろう」¹ との きつぼう を える こと です。それは、しんこう に よって ころろ に、ちしき に よって せいしん に、アッラー を そうき すること に よって いしき に、くいあらため に よって たましい に、そして クルアーン に よって じんせい に——いずれ に も へいあん を もたらす こと です。

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ぜんのう の アッラー への ちゅうせい に ついで、もっとも とうとい の は よげんしゃ (saw) への ちゅうせい です。「あなたがた の なか から、まさしく ひとりの しと が とうらい した。あなたがた の くう に むね を いため、あなたがた を あんじて いる。しんこうしゃ に やさしく、じひぶかい」² という しょうく に ある とおり、わたしたち を ごじぶんの ウンマ として ふかく おもいやって くださる アッラー の しと (saw) を しんらい し、かれ と その アフル・アル=バイト を あいする こと は、わたしたち の ちゅうせいしん における たいせつ な ぎむ です。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

ちゅうせいしん が うすれ、かんしゃ の ねん が わすれられ がちな、この うつろい やすい よ に おいて、ちゅうせい を たもつ こと は しんこう の だいぜんてい です。ハディース に おいて も、「やくそく を まもる こと で しんの ちゅうせい を しめす こと は、しんこう の いちぶ で ある」³ と しめされています。どうか きょう、すこしの じかん を とって、みづから の ちゅうせいしん を ふりかえって みましょう。ぜんのう の しゅ が さずけて くださった かぞえきれない しゅくふく に かんしゃ する という ぎむ を、わたしたち は はたして いる でしょうか。りょうしん、はいぐうしゃ、こどもたち、しんせき、そして りんじん に とって、ころろ を ゆるせる よい ひと で いわれている でしょうか。やまい に くるしむ ひと、こんなん に ある ひとびと の いたみ を やわらげ、たすけ と なれている でしょうか。そう です、あいすべき きょうだい、しまい の みなさま！ ひと として、これらの といに こうていてきな こたえ を かえせる よう つとめましょう。よげんしゃ (saw) の つぎ の ハディース を もって、こんしゅう の きんよう れいはい の ホトバ を おわります。「しんらい を おもんじる もの の しんこう は かんせい し、やくそく を まもる もの の しゅうきょう は かんせい する。」⁴

¹ Fath, 48/10.

² Tawbah, 9/128.

³ Hakim, Mustadrak, II, 20. (1/16).

⁴ Ibn Hanbal, III, 134.